

令和元年度 第3回吉田町総合計画等審議会（議事録）

1. 開催日時

令和2年1月16日（木）10：00～12：10

2. 開催場所

吉田町役場2階 町民ホール

3. 出席者

氏名	役職等	備考
田中 啓	静岡文化芸術大学教授	会長
高橋 進	住吉区自治会長（自治会連合会会長）	副会長
塚本 成男	吉田町教育委員会委員（教育長職務代理者）	
増田ちづ子	吉田町農業委員会委員	
増田 学	吉田町商工会会長	
八木 達良	ハイナン農業協働組合専務理事	欠席
増田源七郎	南駿河湾漁業協同組合専務理事・吉田支所担当理事	
武田 高明	静岡うなぎ漁業協同組合理事	
田島 逸雄	吉田町社会福祉協議会長	
木村 志朗	川尻区自治会長	
竹内 昭雄	片岡区自治会長	
中村 道雄	北区自治会長	
畠山 吉秋	吉田町さわやかクラブ連合会	
田中 秀子	吉田町女性団体連絡協議会長	
内藤 義晴	(株)静岡銀行吉田支店長	欠席
三浦 忠司	島田掛川信用金庫理事・地方創生室長	
飯田千恵子	(株)FM島田放送番組審議会委員	
鈴木佐知子	吉田町男女共同参画プラン検討委員会委員 (特別養護老人ホーム住吉杉の子園施設長)	
金子 朱美	保育園保護者（さくら保育園）	欠席
井谷 秀夫	島田公共職業安定所長	
勝岡 聖子	静岡県中部地域局次長	オブザーバー

（敬称略）

4. 会長あいさつ

【静岡文化芸術大学 田中教授】

本日は後期基本計画（案）と総合戦略（案）について町長より諮問をいただき、次回、答申となります。吉田町の将来に関わる重要な内容ですので、ぜひ忌憚のないご意見をお願いいたします。

5. 町長あいさつ

私はまちづくりを進めていく上で、先人に感謝し、後人に夢を与えるということを心がけています。では夢とは何でしょうか。最終的には本町が生き残れるかどうかということです。現在の最大の問題は人口減少です。2060年には8,673万人程度にまで減少します。32.1%の減少率であり、世界に例を見ないスピードで人口が減少することになります。

本町は、東日本大震災以降、安全・安心なまちづくりを推進してきました。町民の財産と企業の安全を守るための防潮堤の整備を進めており、川尻では今年度末に駆体が完成します。さらに、河川防災ステーションもできます。多目的広場から大井川堤防までは令和2年後半までには駆体ができる見込みです。なぜ焦って整備しているかと言いますと、安全が失われたまちには人は安心して暮らせないからです。安全が目に見える形で形成されてきた川尻では、企業の進出が進んでいます。安全が確保されたところには人が集まります。住吉においても財源を確保し、整備を進めていきたいと考えています。

国営大井川かんがい排水事業は8年間手をつけられませんが、8年後初めて、農地に手をつけられます。8年後、本町は今以上にどんどん変わります。一気にまちづくりが動く準備を今、しなければなりません。まちが変わることが、本町が生き残ることにつながります。30年後、40年後、後人が、我々先人に感謝するまちづくりをしていかなければならないと感じています。

6. 第5次吉田町総合計画後期基本計画（案）及び第2期吉田町まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）の諮問について

第5次吉田町総合計画後期基本計画（案）の諮問書を町長から会長へお渡しした。

第2期吉田町まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）の諮問書を町長から会長へお渡しした。

7. 議事

7.1. 第5次吉田町総合計画後期基本計画（案）について

事務局より、「資料 No.1 第5次吉田町総合計画後期基本計画（案）」の説明を行った。

- ・ 【会長】前期基本計画と施策の体系は変わらず、内容は朱書きの箇所が変更されている。当初の後期基本計画（案）にはSDGsに関する記述があったが、役場内で相談された結果、外したということであった。SDGsの内容をきちんと後期基本計画に反映させるために十分に検討をして、シンボルとなるマークを各施策につけたというわけではなく、関連性のある施策にシンボルマークを付けるという後付けのような形であったためという説明があったが、私もマークを外して良かったと感じている。次の総合計画を作るときに、SDGsの理念を踏まえて作成されればよいと思う。本日提示された後期基本計画（案）にSDGsの理念がないわ

けではなく、しっかり含まれていると思う。

まず第1章から第3章についてご意見、ご質問をいただきたい。

- ・ 【会長】冊子のデザインは、前期基本計画と同じものになるということによろしいか。
→ 【事務局】今の体裁ではなく、印刷時にデザインは変わる可能性がある。

- ・ 【会長】前回の審議会の委員からの意見は、本日の後期基本計画（案）に反映されているということによろしいか。
→ 【事務局】反映したものである。

- ・ 【〇〇委員】施策体系の示し方について、前期基本計画では縦書きだったが、今回は横書きになっており、罫線の関係から見づらい。印刷時にはどのようにされるのか。
→ 【事務局】印刷時には前期基本計画と同様にする。

- ・ 【〇〇委員】P15 の内科診療所数について、4年後に「7か所」を維持するという目標が立てられている。高齢化が進み、また、医師の高齢化や高齢者の確保が難しいという状況の中で、「7か所」を維持するという目標にした背景など、町としての認識をお尋ねしたい。
→ 【事務局】まずは診療所数を確保したいという思いから目標を設定している。新たな医師に来ていただくことも考えていきたい。住民の方が安心してかかりつけ医にかかれる環境を維持するために「7か所」という目標にしているが、7か所に固執しているわけではない。

- ・ 【会長】地域医療を広域で対応していこうという動きはあるのか。
→ 【事務局】近隣地域において、医療全体の連携を図っていくという動きはある。

- ・ 【〇〇委員】P21 の施策4「介護保険制度の適正な運営」の現状と課題について、「要介護（要支援）認定者は増加傾向にあり、今後も増加する見込みとなっています。」というのは確かにその通りだと思う。その次に、「生活支援体制を充実させるとともに、医療・介護関係者の連携を強化し、」と書かれているが、どこの事業所も人材難であるのが現状である。特に介護施設は人材が不足している。我々の所でも、在宅サービスをストップしている状態である。「人材の充実」などにも触れていただけるとよいと思う。
→ 【会長】人材不足については明記した方がよいのではないか。
→ 【事務局】人材育成、人材確保について検討させていただく。

- ・ 【〇〇委員】SDGs についてはボトムアップというか、SDGs という言葉自体がまだ認識されていない中で、若い方は企業を決めるにあたって既に SDGs が基準になってきている。年齢が増すほど SDGs を分かっていない。企業での取り組みのように、吉田町においても SDGs を基準にまちづくりを進めていることを若い世代に示せるとよいと思う。
→ 【会長】そのご意見には同感である。ただし、シンボルマークを表示すればよいということではないと思う。後期基本計画が SDGs を基準とした計画にはならないとしても、7章などに SDGs の考え方を盛り込むことは必要だろう。

- 【事務局】後期基本計画の中で記載するのか、あるいは基本方針として別で定めるのか、庁内で検討させていただきたい。
- 【〇〇委員】「しらすのまどぐち」の現状についてお聞きしたい。また、シーガーデンシティ構想と多目的広場の関係が多いと思うが、水産振興の方向性はどのようなものか。多目的広場の委員会が立ち上げられて、検討が進められているが、町民のもとにそれが行き届いて、理解されている状況にはないのではないかと。
- 【事務局】「しらすのまどぐち」は、地域おこし協力隊が中心となって進めている。様々な人に利用されているが、まだまだこれからであると認識している。多目的広場は、昨年12月末にシーガーデンシティ構想の推進計画を策定したところであり、これから計画について町民の皆さんに広めていきたい。計画では、方向性を示しているが、具体的に何を建てるかまでは決まっていない。
- 【〇〇委員】P35～40までが産業振興関連となっている。オアシス館では10月から「よしサポ」を開始し、企業の個別相談を始めている。分野の主な目標では「創業者数」等を目標に設定されているが、結果を出すには、まず相談が何件あるかが先にあると、その後で目標が出てくると思う。相談件数のようなKPIがあってもよいのではないかと。まずは相談を増やし、その先に創業者が増えてくると思う。
大学等と連携した新商品等の開発や大学等と町内企業等が連携した人材確保を目指していくとのことだが、具体的にどこの大学をターゲットにしているのか。
- 【事務局】相談件数はアウトプット指標であり、総合戦略の方にKPIとして設定している。「駿河BlueLine」において大学等の連携に取り組んでおり、常葉大学であったと思う。それ以外には具体的な大学は現時点では想定していない。
- 【〇〇委員】自主防災会に関して、地域防災力を上げるためには消防団の充実を図っていかねばならない。消防団は町内に145名しかいない。世帯数の規模からすると、200名以上はほしい。消防団は減少傾向にあるので、目標に加えていただけたらと思う。
- 【事務局】P11の施策2「消防団の充実・強化」の施策の方向性において、「消防団員の確保、女性消防団員の増加」を重点プロジェクトとして設定している。
- 【〇〇委員】商工会代表としての意見だが、中小・小規模事業者に関する内容を加えていただけてありがたいと感じている。小規模事業者のまちに対しての役割がようやく見直されてきている。まちを支えているのが小規模事業者であることを強調してもらいたい。
- 【事務局】後期基本計画の中では「関係機関」として記載させていただいている。今後とも小規模事業者と連携してまちづくりを進めていきたいと考えており、よろしくお願ひしたい。
- 【会長】第4章以降を含めてご意見はないか。P64の「各小中学校における学習者用コンピューターの設置台数」の単位（人/台）は、正しい書き方に変更してほしい。「台/人」に変更すると、現状値が小さい数字になってしまうので、例えば「100人あたり〇台」という書き方にしてはどうか。

→ 【事務局】 変更させていただく。

- ・ 【〇〇委員】 P56 に関連して、川尻区には外国人が多く、自治会からの情報が通りにくい。コミュニケーションのあり方が難しい状況である。

→ 【事務局】 分野の多文化共生において、「施策1 多文化共生意識の浸透」と「施策2 多文化共生に向けた生活基盤整備」を挙げており、これを推進していく。なお、外国人対策については、相談窓口を設置しようということで進めている。翻訳機の設置も検討しており、来年度からスタート予定である。

- ・ 【〇〇委員】 各施策に「4年後の姿」とあるが、吉田町へ来ていただいた方に、きれいだなと思ってもらえるものを今から作っていく必要がある。4年後と言わず、町内の幹線道路の整備や、雑草が繁茂している道路の美化などに力を注いでほしい。
P56に「自治会役員への女性登用の促進」とあるが、自治会での女性登用は企業のようにうまくいかないと感じている。

→ 【事務局】 幹線道路の草については、町を含め、地域と一緒にできる方策を考えていきたい。

自治会における女性登用については、町の取り組みとして男女共同参画を推進しており、意識の醸成が重要であると考えている。

→ 【会長】 役場として何ができるかを検討していただきたい。

- ・ 【〇〇委員】 P59 の分野の主な目標「ホームページアクセス件数」について、イベントや行事の情報をホームページに載せたら、楽しみに見てくださる方は多いのではないか。

→ 【会長】 地域ならではの情報は、住民や町外の方にとっても有効である。

→ 【事務局】 ホームページの内容の充実を図っていきたい。「よしポケ NEWS」で町のイベントや行事は現在も発信している。

- ・ 【〇〇委員】 行政と民間の事業がコラボしにくい現状があるので、情報の一元化ができないかを検討してほしい。

今、子どもたちにもスマートフォンがどんどん普及していく中で、町民全員がスマートフォンを持って情報を共有できるようにするなど先進的に取り組んではどうか。

→ 【会長】 ヨーロッパのスロベニアでは、IT化が世界の最先端で進んでいる。後期基本計画に盛り込むということではなく、ぜひ取り組んでいただければよいと思う。

7.2. 第2期吉田町まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について

事務局より、「資料 No.2 第2期吉田町まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）」の説明を行った。

- ・ 【会長】 基本的には後期基本計画に記載されている施策が総合戦略に整理されている。限られた時間ではあるが、ご意見があればご発言いただきたい。

- ・ 【〇〇委員】 P25 に重要業績評価指標（KPI）として「シニアカレッジ受講者数」が挙げられているが、これから5年間で増える高齢者の増加数を勘案して目標値が設定されているのか。
- 【事務局】 現行の人口ビジョンの推計では、2015年から2025年にかけて1,000人ほど増える予測となっている。KPIは高齢者数の予測を踏まえた数値ではなく、これまでの取り組みの延長として設定している。
- 【〇〇委員】 バスもそうだが、今あるスキームの中で考えるのではなく、高齢者がこれくらい増えて、高齢者に元気になってもらうためには、これくらいの人に利用してもらいたいという発想から目標値を設定しないとおかしいと思う。
- 【会長】 「シニアカレッジ受講者数」の目標値はどのように設定されているのか。今の取り組みの延長で目標値を設定しているとしたら、高齢者の増加に対応できるのかという問題意識を持っていただければと思う。
- 【事務局】 公共交通に関しては今年度、来年度に公共交通網形成計画を策定予定である。今後の高齢者の増加を踏まえた中で検討していくこととしている。

8. その他

- ・ 【事務局】 来週中旬からパブリックコメントを実施予定である。また、次回審議会は2月19日（水）15時から開始し、審議会から町長へ答申いただく。本日の審議会以降でご意見があれば、2月19日（水）までに事務局へご連絡いただきたい。

以上